



ゆり組の様子 No.4



自分の好きな遊びを継続してすることで工夫したり、遊びの幅を広げたりする様子もありますが、「かごめかごめ」や「はないちもんめ」など、集団遊びを楽しむことも増えてきました。友達と協力して1つの遊びについて、ルールがわからない子にルールを教えることなどが自然と出てきました。



普段、制作遊びの素材として作っている新聞紙を数人で囲み、新聞紙に載っている間違い探しをしていました。制作の材料としてだけでなく、見て楽しんだり、そこで生まれる友達との会話を、1つのもので遊びや友達との関わりの幅が広がってきました。



発表会ごっこでは、本番でやった役以外の役にもなり、友達と楽しみながら遊んでいました。自分がやった役以外のセリフや動きを覚えており、時折友達と確認しながら全員が笑顔で参加していました。発表会後からは、ごっこ遊びをする子が増え、園庭でも室内でも自分達の好きな「〇〇ごっこ」を見つけて遊んでいました。



ランチルームで給食を食べました。いつも食べる保育室より広い場所で、様々な友達と関わっていました。また、他クラスと給食を食べたことで、給食中の過ごし方や食べる時の姿勢を見て、自分なりに正しい食べ方を考える姿も見られました。



大掃除では、飯事コーナーの棚の下や、ピアノの下、窓のレールなど、普段よりも細かいところに気付き、自分達で過ごす環境をきれいにする姿が見られました。また、ちりとり係とほうき係に分かれるなど、友達と同じ場所の掃除を役割分担して協力しながら掃除ができることが増えてきました。



クラスでの集団遊び以外にも、自分達でやりたい遊びを見つけ、集団で遊ぶようになりました。その様子を見ていた別の友達も来て、自然と一緒に遊び始めていました。ルールを教え合い、全員が理解できるまで伝えて、みんなで遊びを楽しもうとする姿が見られました。



築山を滑り台に見立てて遊んでいました。砂場遊びの延長で築山の砂で遊ぶことはありましたが、築山自体を遊ぶものにして遊ぶようにもなりました。また、砂場に大きな穴を掘り、つき山から走って飛び込む遊びを思いつき、自分達でタイムを競って楽しんでいました。



戸外遊びをしていたらキンカンが突っており、収穫をしました。保育室に戻り、みんなでキンカンを食べました。「甘い」「酸っぱい」「苦い」など、感じたことをそれぞれ友達と共有していました。以前は初めてのものを食べられなかった子が、友達の姿を見て食べてみる様子も見られ、初めてのことに自分から挑戦してやる姿が増えました。